

皆さまのお困りごとに寄り添うために

当社は、物流事業者として培ってきたノウハウを生かしながら、
官民一体となって地域社会の課題を解決するため、さまざまな支援・サービスを展開しています。
農水産業の支援や地域の交通活性化に向けた取り組み、医療支援や
環境負荷低減に貢献する施策、地域社会の発展と自治体の業務負荷軽減につながる連携をはじめ、
災害時には救援物資輸送の支援など、幅広い領域に及んでいます。
第三弾となる今回の事例集では、自治体の皆さまの課題に焦点を当て、それぞれどのような
取り組みで解決に至ったのかをまとめています。
ぜひ、皆さまご自身のお困りごとにも当てはめていただきながら、ご覧いただければ幸いです。



代表取締役社長
本村 正秀



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社のタウンサポートは、官民連携を通して地域が抱える課題を解決するとともに、地域社会のSDGs達成にも貢献します。



SDGs (エス・ディー・ジーズ)とは？

SDGsとは、「未来まで安心して豊かな生活を送ることができる世界」を目指して、国連サミットで決まった2030年までの世界的な目標です。環境や貧困など、幅広い17のゴールと169のターゲットで構成されています。

地方自治体と連携して地域課題を解決



グループ各社の強みを生かし、地域課題の解決

当社はSGホールディングスグループの中核企業として、川上から川下まで、お客さまのあらゆる物流ニーズにお応えする総合物流企業です。当社と各事業会社が強みを生かし、地域社会の課題を解決するサービスを展開しています。



海外販路拡大支援

海外

Sg GLOBAL
国際物流

SAGAWA PRINTING
印刷・物流資材

※協力会社

Sg logistics
物流加工

ドローン輸送

災害備蓄品

自治体業務支援

メデイカルサポート

環境啓発イベント

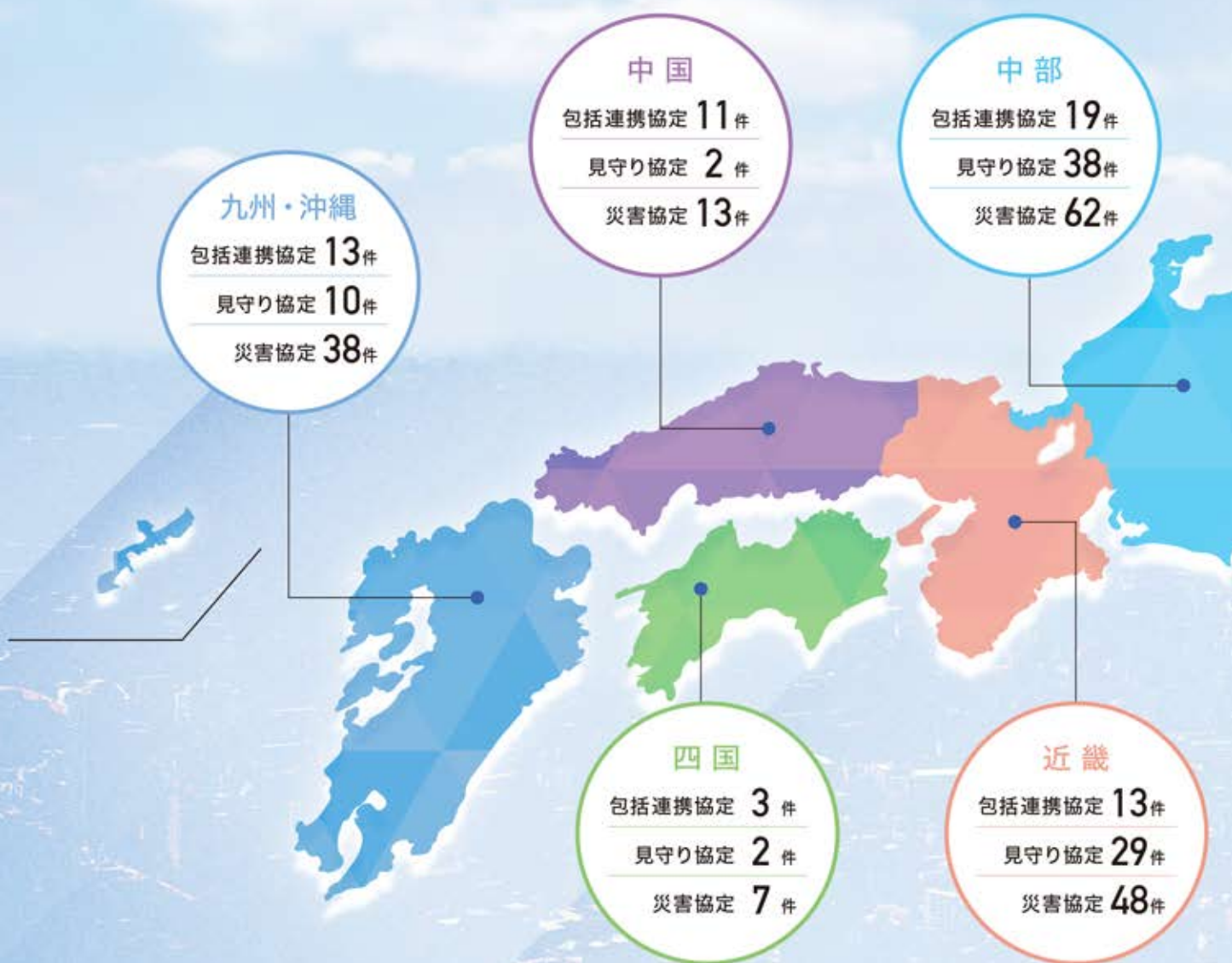
に向けたサービスを展開



※TMS—Transportation Management Systemの略。従来のチャーターサービスを強化しお荷物に合わせた最適な輸送手段を提案するサービス。

自治体などとの連携で、課題解決に取り組む

当社は、地方自治体、団体、企業などと協定を締結し、官民一体で地域社会の課題解決に向けて、取り組んでいます。



CONTENTS

グループ各社紹介	02
自治体などとの連携で、課題解決に取り組む	04
SPECIAL INTERVIEW	06

成約

ふるさと納税支援	08
農水産業支援	09
地域交通活性化	10
観光・イベント運営支援	11

環境	15
教育支援	17
移設	19
自治体業務支援	20
災害支援	22

提案中

国際案件	24
買い物支援	25

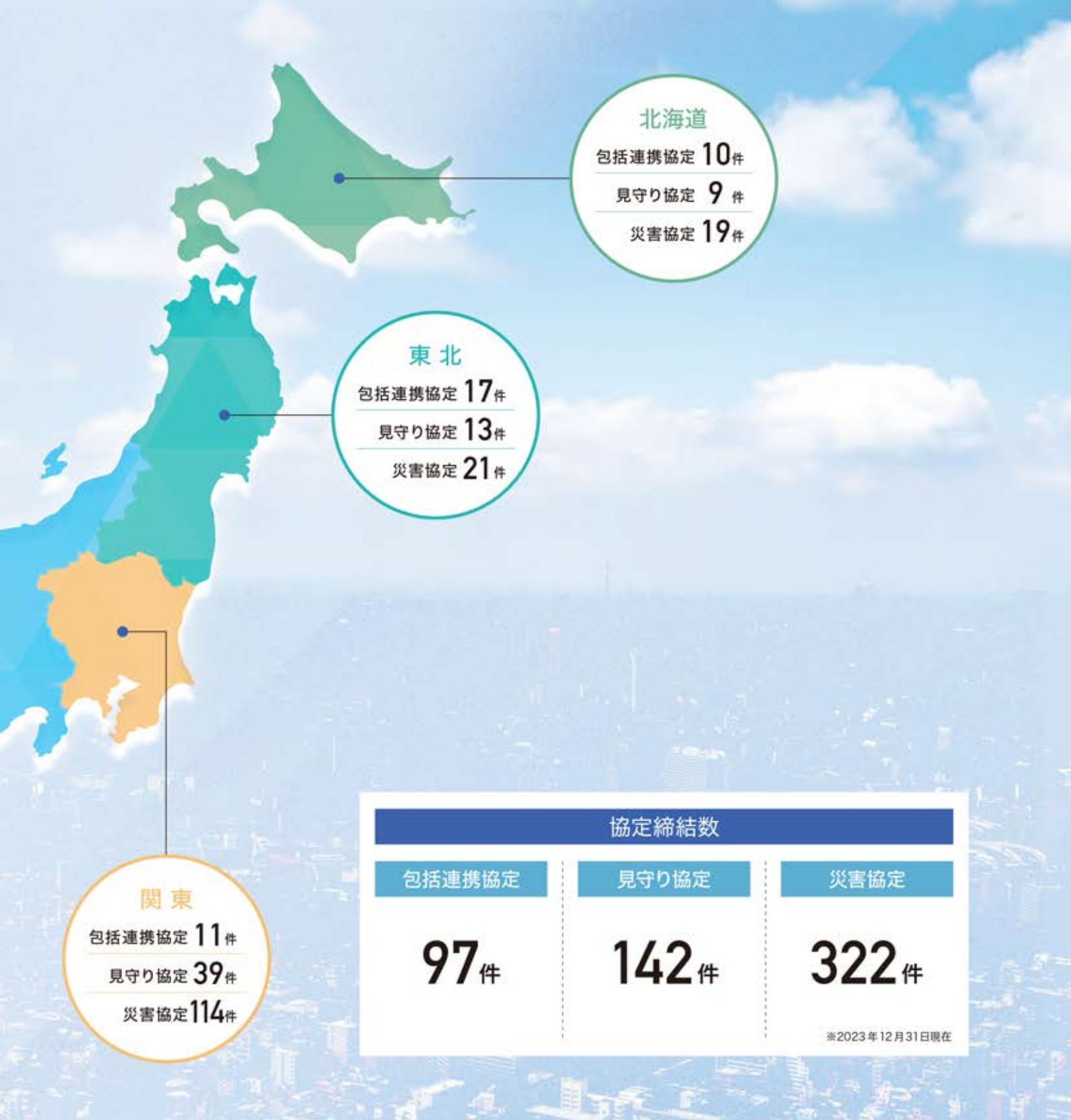
医療支援	26
------	----

実証実験中

地域交通活性化	27
観光・イベント運営支援	29

当社の環境活動	30
---------	----

当社の災害支援活動	32
-----------	----



北海道

包括連携協定 10件

見守り協定 9件

災害協定 19件

東北

包括連携協定 17件

見守り協定 13件

災害協定 21件

関東

包括連携協定 11件

見守り協定 39件

災害協定 114件

協定締結数

包括連携協定

97件

見守り協定

142件

災害協定

322件

※2023年12月31日現在


タウンサポート カテゴリー



当社は官民一体となって、地域社会の課題に適切なソリューションをご提供します。

「未曾有の大災害という非常時に 物流の力でご支援いただきました。」

2021年7月に発生した「伊豆山土石流災害」。そこで当社が行った災害支援がきっかけで、2022年に熱海市と当社は地域活性化包括連携協定を締結しました。当社の災害対応や今後への期待について、齊藤市長にお話を伺いました。



静岡県熱海市 市長
齊藤 栄様

さいとう・さかえ / 2006年より現職。伊豆山土石流災害での当社の支援活動について高い評価を頂いている。

2021年の土石流災害で被災

熱海市は、2021年7月3日に伊豆山地区で発生した土石流で、甚大な被害を受けました。500人以上の方が被災され、ホテルや避難所への避難を余儀なくされたのです。

当日のニュースで土石流の映像が繰り返し放送されたことで、翌日には全国から次々と支援物資が届き始めました。これは本当にありがたいことでしたが、あまりにも量が膨大で、その受け入れ対応に苦慮しました。私たちにはそうした物資を受け入れるノウハウも保管する倉庫も無かったのです。

そんな折、静岡県が佐川急便さんと支援物資の輸送などに関する協定を結んでいるという情報を得て、県を通じて紹介していただきました。

物流のプロの仕事に感嘆

佐川急便さんは、受け入れた物資の整理から保管、そして被災者の皆さんへの配送と、支援物資に関わる業務をすべて一手に引き受けてくださいました。その迅速で的確な作業は、まさに「プロの仕事」。物資の仕分けや整理などの慣れない業務で疲弊していた職員たちも、安心して本来の業務に集中できるようになりました。

こうしたご支援をきっかけとして、2022年9月に「地域活性化包括連携協定」を締結することとなりました。

熱海市の抱える課題

協定締結を機に、あらためて佐川急便さんの物流の力を、本市の課題解決のためにお貸しいただきたい、と考えています。熱海市の地域課題としては、まず高齢化が挙げられます。高齢化率は50%近くまで進み、市民の2人に1人が65歳以上という状況です。

また、地形の特徴として、熱海は坂が多い。居住地面積に占める坂道の比率では全国ナンバーワンと言われています。坂道が、生活者、特に高齢者にとっての移動の障壁となっています。

3点目は課題というより特徴になりますが、産業をほぼ観光に頼っているという側面があります。就業人口の約7割が何らかのかたちで観光業に関わっています。

佐川急便の対応力に期待

「高齢者が多い」「坂道が多い」熱海市としては、佐川急便さんのきめ細やかな配送サービスに期待しています。すでに広報誌の配送についてご提案いただき実現していますが、今後は買い物支援の部分で日用品や野菜などの配送もお



願いたいと考えています。防犯や防災の面で、荷物を配達する際の見守りもお任せできないかとも思っているところです。また、熱海市には、「初島」という人口200人ほどの離島があります。ドローンを使って島に必要なものを届ける



ということも可能になるのではないかと夢を膨らませているところです。

観光面での期待も大きいです。熱海は東京からも近い、人気の観光地。今後コロナが落ち着く中で、海外からも多くの観光客が訪れ、混雑は増すことでしょう。手荷物預かりのような、観光客がスムーズに観光を楽しめるようなサービスを提供できないかと考えているところです。

今後も佐川急便さんとともに

佐川急便さんが、輸送に留まらずさまざまなソリューションをお持ちであることに驚いています。熱海市の高齢化は進み、地形は今後も変わりません。地域課題の解決に向けてのアイデアは尽きませんが、これからも佐川急便さんとの連携で、市民が安心して暮らせるまちづくりをしていきたいと思っています。

伊豆山土石流災害での支援物資輸送の様相 (33ページに詳細を掲載)



避難先となったホテルから新たな避難所へ荷物を移動



全国からの支援物資を倉庫で受入・保管・管理



土石流災害の爪痕が残る中、被災者の荷物を自宅まで配達



ふるさと納税支援

成約



ふるさと納税の関連業務を効率化したい

課題



- 送り状貼付などの物流加工作業や、ECモールでの検索ヒット率向上のための
※タグ付け作業が大きな負担になっている

※タグ=ECモールなどで商品を絞り込み検索する際に登録するID情報

- 返礼品の送り状代行出力や梱包・出荷作業のサポート、配送問い合わせまで対応
- 「スマートAIタグガー」を導入すると、AIによりタグ付け作業の自動化が可能に

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

ご担当者様から「出品に関わる労力を減らせることは非常に魅力的で、商品の入れ替えや追加もスムーズに行うことができ助かっている」とのお言葉を頂いています。自治体への寄付額にも直結するので、費用対効果の面からも自信を持ってお勧めします。



成約

ニーズに合わせて農産品を出荷したい

課題

● ふるさと納税の返礼品およびEC出荷するためにすいかの詰め替えが必要



ソリューション

- 箱の入れ替えから出荷までの物流加工を行う適正な人員を手配
- 物量に合わせた車両を手配

解決フロー | 事業会社：佐川急便、SGムービング

作業場

すいかの詰め替え作業

2個入りを1個入りに

チャーター便を手配

佐川急便 営業所

佐川急便 担当者より

すいかの選果場にあるマテハンの仕様が2個入りで梱包する仕様になっており、ふるさと納税の返礼品などで需要が高まっている1個入りにリパックする必要がありました。また、作業には女性も多く、重量物であるすいかを扱うことに苦慮されていたため、適正な人員を手配いたしました。



地域交通活性化

成約



地域の交通インフラを活性化したい

課題

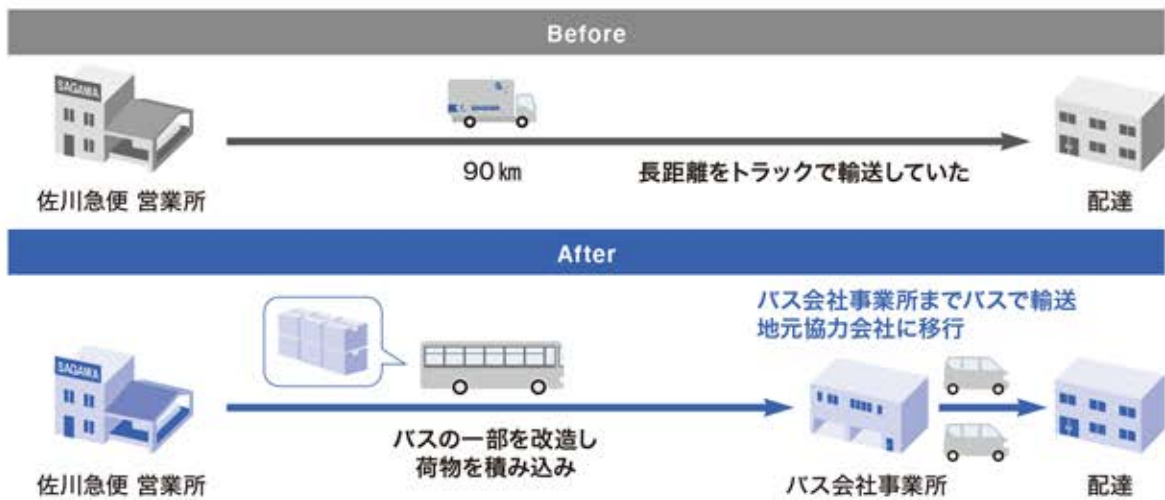


- 地域交通の維持・発展を目指したい

- バスの空きスペースを使って荷物を輸送

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

営業所から遠く移動に時間がかかっていた配達エリアまで、バスでの貨客混載で当社2t車と同量のお荷物の輸送が可能となります。当社の業務効率化や環境負荷軽減だけでなく、貨物と人の“相乗り”によって地域の交通インフラの活性化にもつながっています。



成約

野外イベントを円滑に開催したい

課題

- 3年ぶりかつ初の野外実施となるため、資材の手配や設置などの運用面に不安がある



ソリューション

- テントなどの資材の手配～設置～撤去まで一貫対応
- 来場者様向けの宅配カウンターを設置・運営
- マスコットキャラクター「はこぶくん」の出張

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川アドバンス

会場のテントを設営

宅配カウンター

佐川急便の着ぐるみ「はこぶくん」(写真左)の出張

佐川急便 担当者より

テントの設営や宅配カウンター設置、「はこぶくん」と大船渡市マスコットキャラクターの「おおふなとん」とのコラボなどを通じて、一緒に産業まつりを盛り上げました。今後は、大船渡港の活用など、観光以外の領域でも自治体との連携を深めていければと思います。



観光・イベント
運営支援

成約

CO₂排出量の少ないサステナブルな物流によって、

LAKE BIWA TRIATHLON 2023

2023年10月1日(日)開催

琵琶湖(滋賀県)を舞台としたトライアスロン大会。「サステナブル」をコンセプトとし、海外からの参加者も訪れるこの大会を、佐川急便はCO₂排出量の少ない物流でサポートしました。



課題

- 環境に配慮しながらスポーツイベントを成功させたい
- イベント参加者を環境負荷の少ない物流でサポートしたい

環境に配慮した鉄道輸送でイベント関連用品を輸送



貨物列車で高崎(群馬県)⇄京都間を往復輸送



京都貨物駅で佐川急便の車両へ積み替え

その他のソリューションの一例



国内外の参加者の競技用自転車を搬入先となるホテルまで輸送



イベント関連用品を会場まで輸送

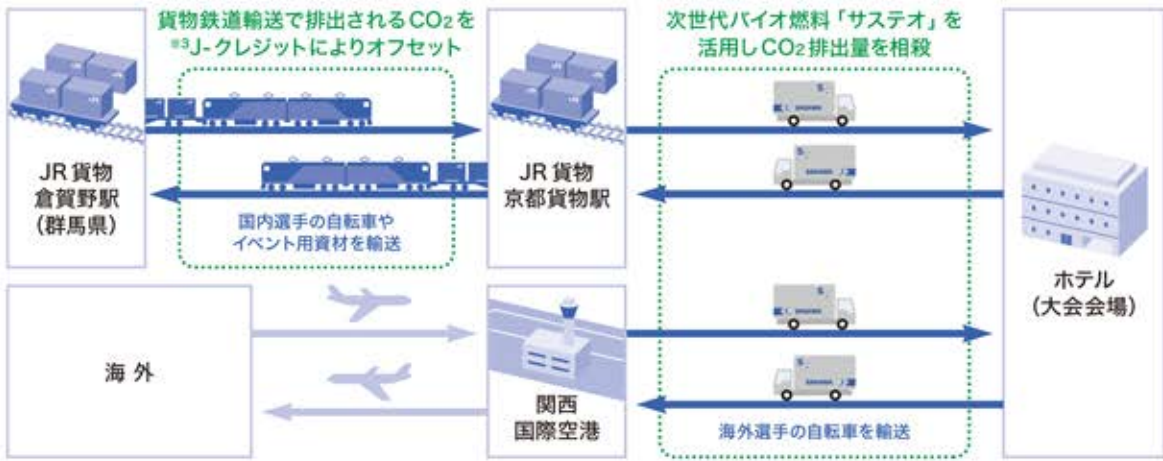
国際スポーツイベントをサポート



- 佐川急便を窓口とした鉄道輸送の活用のほか、次世代バイオ燃料「^{※1}サステオ」を活用した配送をすることで、トラック輸送によるCO₂排出量を^{※2}実質ゼロへ
- 関西国際空港に到着する外国からの参加者の手荷物輸送にも対応

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



※1 「サステオ」とは、株式会社ユーグレナ様の供給するバイオ燃料のこと。持続可能性に優れたバイオマス原料からつくられています。「サステオ」は燃料の燃焼段階ではCO₂を排出しますが、原料となる植物や藻類がCO₂を吸収するため、燃料を使用した際のCO₂排出量が実質的にはプラスマイナスゼロとなることが期待されています。

※2 CO₂排出分を相殺する量のバイオ燃料「サステオ」を、佐川急便の別の車両で活用することで、CO₂排出量を実質ゼロに

※3 温室効果ガスの排出削減や吸収量を、国が「クレジット」として認証する制度

守山市 森中市長より

この雄大な琵琶湖の自然を舞台とした大会へ、国内外から多くの方にご参加いただき大変うれしく思います。一方、こうした大規模な大会を開催すればするほど「CO₂排出量が増えるのでは」というご意見があるのも事実です。今回、「サステナブル」をコンセプトとする中で、佐川急便さんをはじめ企業の皆さまと連携することで、環境負荷の低い大会運営ができたことを非常にありがたく思っております。

※森中市長と杉本様は、本大会のリレーの部の選手として参加されました



左から、守山市都市経済部 商工観光課 藤田様、森中市長、守山市都市経済部 商工観光課 杉本様



観光・イベント
運営支援

成約

国際的なイベントの 警備体制整備のため白バイを輸送したい



課題



- 全国各地から白バイを集め、会場付近の警察署へ安全に輸送したい

- 関東・中部・関西・九州から約120台の白バイを専用車両で輸送
- 輸送に使用するトラックにはすべてGPSを搭載し、紛失などを防ぐ

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

スポット的な国際イベントは、過去にも受注したことがあり、その経験を生かし、無事イベントを終えることができました。白バイだけでなく、資材の輸送や保管なども当社グループの得意とする分野です。規模の大小問わず、ぜひお声掛けいただければと思います。



成約

地域で脱炭素に取り組みたい

課題

不在だった。また配達に
来ないと…

再配達の連絡も
手間なのよね…

地域の
脱炭素化の
ためには…

● 宅配便の不在再配達によるCO2排出量を削減したい

ソリューション

● 岐阜県山^{やま}県^{がた}市向けに、他社の運送会社も
使用できる宅配ボックスを導入
(自治体から地域住民へ宅配ボックスを配布)

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川アドバンス

1回で配達

再配達削減

- ・ 宅配貨物の初回配達率が前年より3.4%も改善
- ・ 約32%の再配達率削減に成功
(ご不在で持ち戻りとなっていた宅配貨物の個数が減少)
※同社で行ったアンケートによるもの

市民の声

時間を気にせずに出掛けられる
ので助かっています。
(40代 女性)

留守のときでも配達してもらえて、
再配達依頼の手間も省けるので
ありがたいです。
(70代 女性)

環境に配慮した取り組みでとても
良い。
(50代 男性)

佐川急便 担当者より

2050年のカーボンニュートラルに向け、再配達を減らすことで脱炭素社会や山^{やま}県^{がた}市に貢献できました。また、なかなか日中に荷物を受け取ることのできない地域住民の方々が、ストレスなく荷物を受け取れる環境をつくれたことにやりがいを感じています。





成約



家電回収に関する問題を解決したい

課題

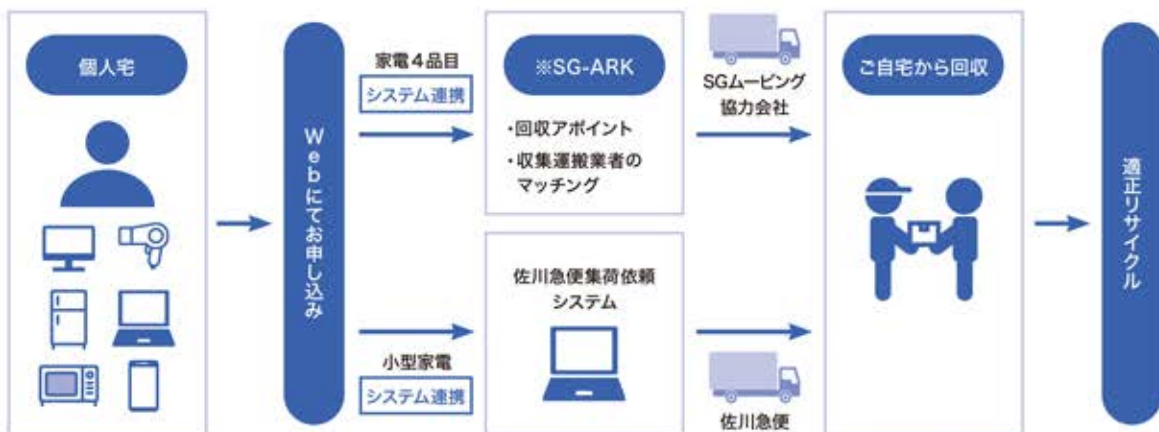


- 家電4品目および小型家電の処理について、不法業者の問題や住民からの処理方法の問い合わせ対応に困っている (自治体では家電4品目は処理できない)

- SGムービングとリネットジャパンリサイクル様の連携で、家電回収サービスを自治体向けに提供

解決フロー | 事業会社：佐川急便、SGムービング

ソリューション



※SG-ARK:家電4品目回収プラットフォーム

SGムービング 担当者より

サービス説明のため、多くの自治体に向けてのウェビナーを開催しております。サービスをご利用いただいている自治体からは、スマートフォンで簡単に受け付けできることや、きちんと養生して自宅から運び出しを行う対応などについて大変ご評価いただいています。



環境



教育支援

成約

環境啓発のイベントを開催したい

課題



- イベントを開催するに当たり、会場やインストラクターを手配するノウハウがない



- 会場、スタッフなど一式を手配 ※会場は東京都八王子市の高尾100年の森

事業会社：佐川急便、佐川アドバンス

これまで開催した環境啓発イベント



クラフト体験や生き物探し、森林保全活動を行う様子

ソリューション

佐川急便 担当者より

環境啓発のイベントを開催するに当たり、インストラクターや会場の手配などにお悩みのご様子だったため、当社が保有する「高尾100年の森」でのイベントをご提案しました。自然体験を通して、環境問題や森林保全に目を向けるきっかけをつくることができました。



教育支援

成約



子ども向けイベントで地域を盛り上げたい

課題



- 職業体験などのイベントの実施に当たり、出展してもらえる企業を探している

- 佐川急便はさまざまな職業体験イベントに参加してきたノウハウを生かし、物流分野でのお仕事体験プログラムを提供可能

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



「Kids ジョブチャレンジ」の様子。キッズサイズの制服も用意して、子どもたちに「佐川急便の仕事」を疑似体験してもらいました

佐川急便 担当者より

こうしたお子様が参加するイベントは、自治体にとって良いシティプロモーションになると思います。また、私たち佐川急便にとっても地域に会社が根付くきっかけとなります。今後もこうしたイベントに積極的に参加していきたいと考えています。



成約

庁舎移転をまるごとお任せしたい

課題

● 新たな庁舎への移転に対して、何から始めればよいのか分からない

ソリューション

- 経験豊富なスタッフが移転に伴うさまざまな作業をトータルサポート
- 残什器の処分や再利用の検討もお任せ

解決フロー | 事業会社：佐川急便、SGムービング

物量分析	仕様書作成	庁舎移転	残什器処分
<ul style="list-style-type: none"> ● 移転に関わる現地調査 ● 転用什器調査 ● 新規什器検討 ● 書類総量格納分析 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上限金額の設定 ● 参加業者の選定 ● ランク設定 ● 類似過去案件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 館内養生作業 ● 移転作業 ● 人車手配 ● 日程調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● 残什器の集積 ● 処分業者選定 ● 分別作業 ● 再利用の検討

SGムービング 担当者より

庁舎移転の課題は多岐にわたりますが、グループの力を結集することで、ワンストップのソリューションを提供できます。短期間での移転完了もお任せください。また、移転で生じる残什器処分についても任せていただくことが可能です。





自治体
業務支援

成約



国勢調査業務を一貫してお任せしたい

課題

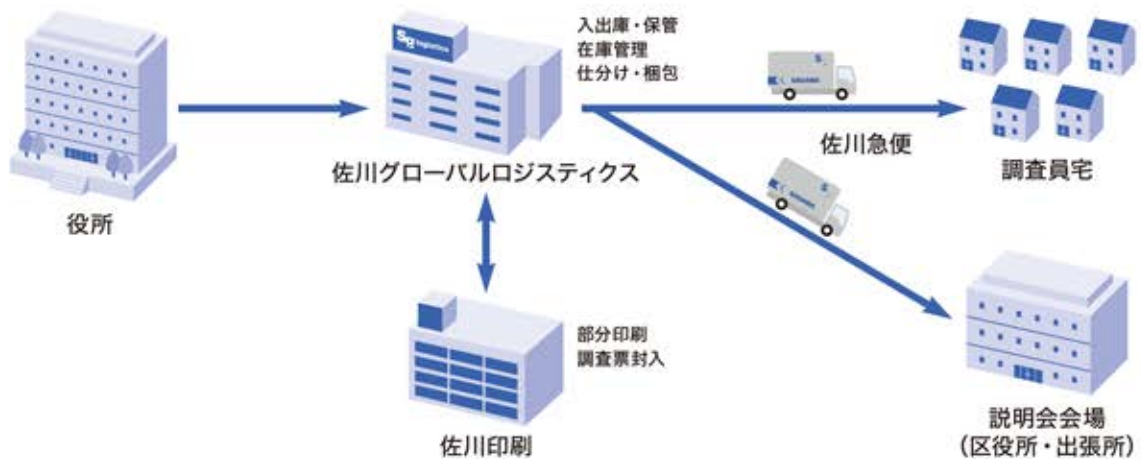


- 5年に1度の国勢調査をどのように進めていけばよいのか分からない
(前回の担当者が異動しているため)

- 調査票・調査用品の在庫管理や流通加工、区役所や約11,000の調査員宅までの配送を一括手配

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、佐川印刷

ソリューション



佐川急便 担当者より

2015年に受託した経緯があり、当社へ一番にお声掛けいただきました。前回より調査票の封入における仕様変更などの問題もありましたが、期日通りの流通加工～配送を履行できたことで感謝の言葉を頂きました。次回はコールセンターの委託も相談いただいています。



自治体
業務支援

成約



統一地方選挙の運営をスムーズに行いたい

課題



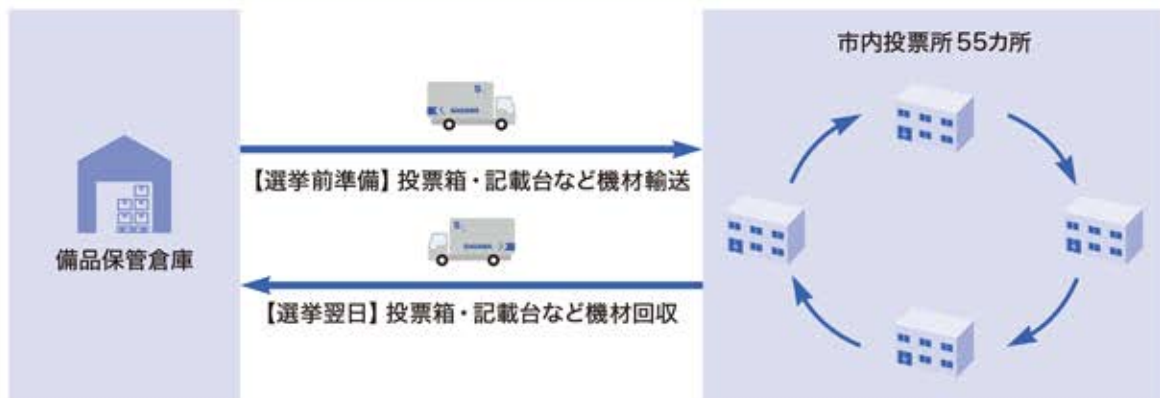
- 投票会場や開票所へ機材などの配達・回収を効率的に行いたい



- 投票所・場所・規模に応じた車両・ルートを設定し、輸送・回収を行う

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

2022年4月に行われた統一地方選挙における、市内55カ所の投票所への物品輸送・回収業務をお任せいただきました。時間の限られた中での業務でしたが、立ち会っていただいた自治体の担当者様の手を煩わせることなく、コスト面、品質面でもご評価いただくことができました。





災害支援

成約



災害備蓄品の管理をスムーズに行いたい

課題

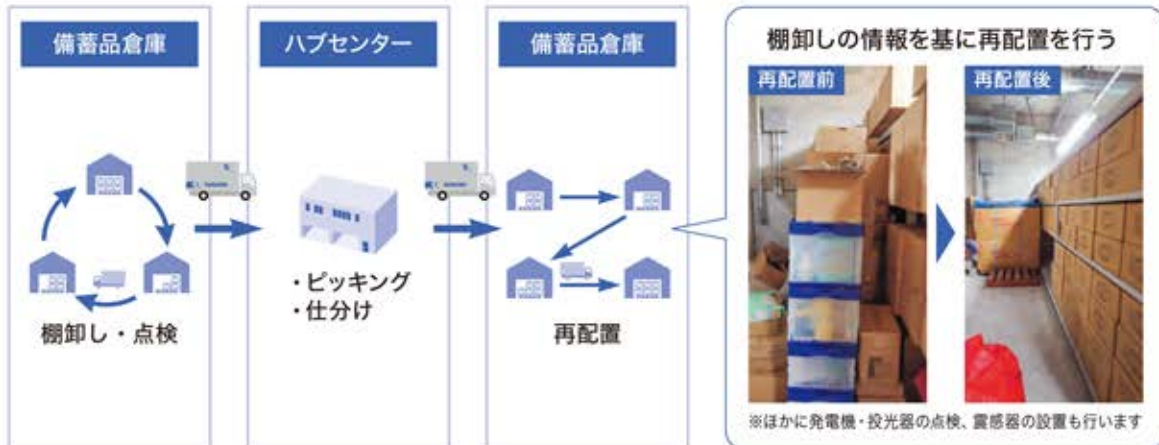


- 136カ所の倉庫について、物資の棚卸しと合わせて、人口分布に合わせた配備、災害時の使用を最優先に考慮した配置に変更したいが人手が足りない

- 災害が起きた場合を想定した、倉庫内配置のご提案
- 発電機などの点検および避難所の収容人数に合わせた備蓄品再配置

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、SGムービング

ソリューション



佐川急便 担当者より

当社は実際に被災地に赴き、備蓄品を輸送した経験が数多くあり、その経験を生かした提案を行います。また、防災士とロジスティクス関連の資格保有者による再配置の提案も評価いただいています。



成約

災害時、物資運搬の負担を減らしたい

課題

- 避難所での支援物資の運搬・仕分け業務は避難住民の大きな負担になる
- 支援物資をうまく仕分けできないと、避難所スペースを圧迫してしまう

● 事前に※マテハン機器を用意することで、避難所での疲弊軽減・スペース確保を実現

※マテハン…「マテリアルハンドリング」の略語で材料や製品などのモノを運搬する作業のこと

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川印刷

ソリューション

Before 支援物資をうまく整理できず
仕分け・運搬作業が困難



After 避難所での作業緩和・スペース確保に
マテハン機器が活躍



マテハン機器の一例



伸縮ローラーコンベア



折り畳み式リヤカー



輸送台車



佐川印刷 担当者より

事前にマテハン機器をご用意いただくことで、有事の際の避難所支援に役立ちます。また、他の自治体への支援もできるアイテムとなります。実際に避難訓練などで使用感を確かめることも可能ですのでぜひご検討ください。



国際案件

提案中



地域活性化のため地酒を海外へ販売したい

課題

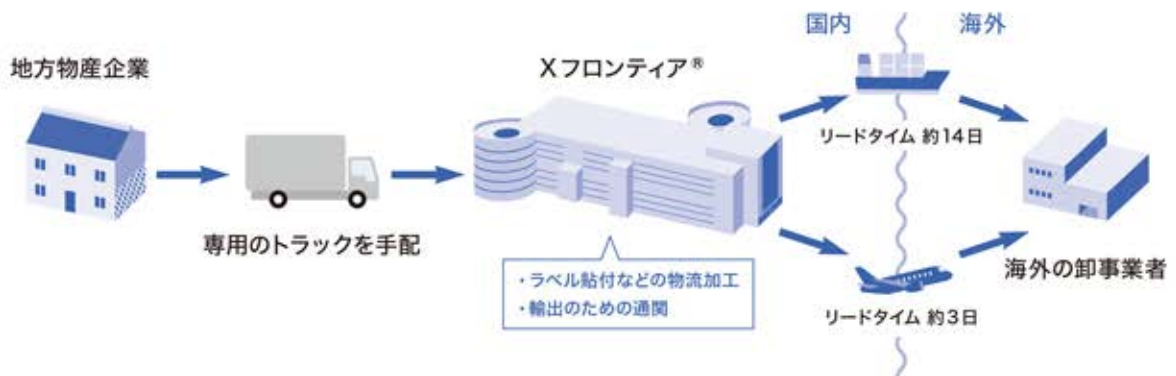


- 海外の販路開拓方法および輸出方法が分からない

- 販売者と消費者をマッチングするサービスを提案
- 国内はチャーター輸送、海外へは海上輸送・航空輸送など幅広い輸出方法を提案

解決フロー | 事業会社：佐川急便、佐川グローバルロジスティクス、SGHグローバル・ジャパン

ソリューション



佐川急便 担当者より

地域産業の活性化を推進するために、海外への新たな販路開拓をお手伝いでき光栄です。お客さまからは「普段からお世話になっている佐川急便の営業所が窓口となって、サポートしてくれるのが助かる」と仰っていただいています。



医療支援

提案中



「地域医療連携」を推し進めたい

課題



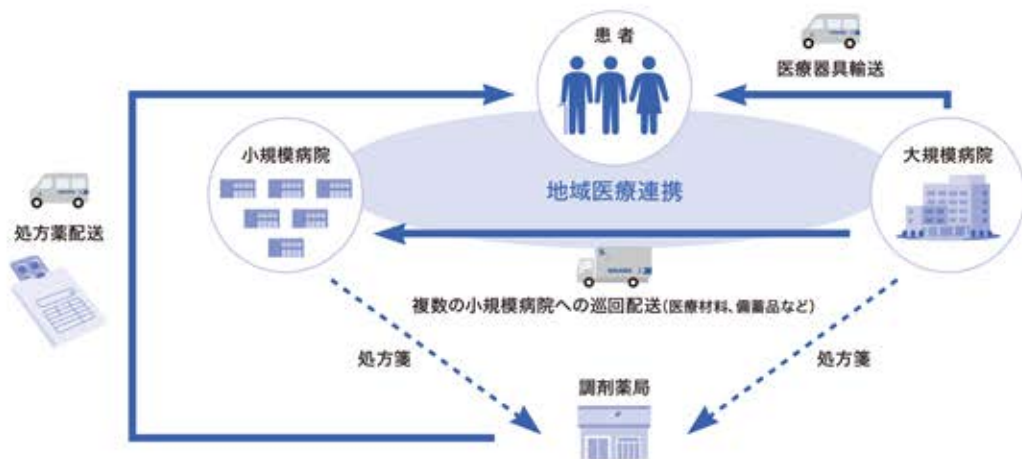
- 「※地域医療連携」を、どう進めたらよいか分からない

※地域の中で医療機関が連携することで、患者が切れ目のない医療を受けることができるネットワークのこと

- 医療機器の貸出機の配送や複数の小規模病院への巡回配送など、物流の力で、「地域医療連携」推進をサポート

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

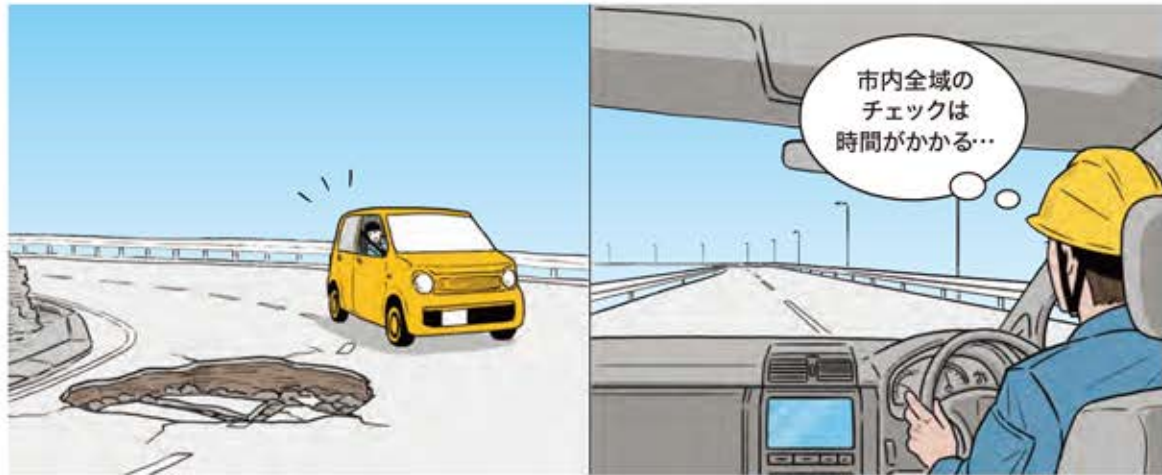
「地域医療連携を推し進めたいが、何から手を付けてよいか分からない」とお困りの自治体へ、まずは地域医療に必要なモノが動く仕組みを当社がご提供し、その仕組みを活用していただきながら、地域医療連携を推進するお手伝いをします。



実証実験中

道路調査にかかる手間を減らしたい

課題



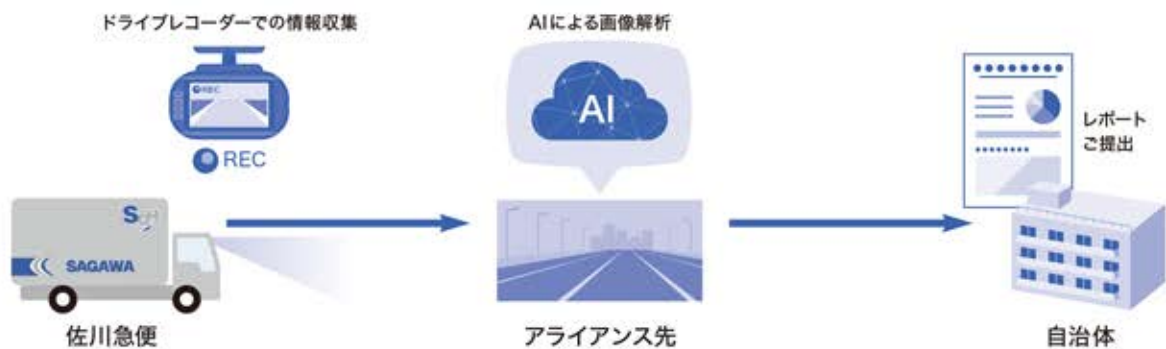
- 道路の損傷状況検知の監視に人手とコストがかかる



- 集配中のトラックのドライブレコーダーを活用し、道路状況の情報を収集
- AIによる画像解析を使って、自治体にレポートを提出

解決フロー | 事業会社：佐川急便

ソリューション



佐川急便 担当者より

道路の損傷は事故や渋滞につながり地域社会に大きな影響を与えますが、そのチェックには多大な労力が必要です。当社のトラック（ドライブレコーダー）であれば、集配業務を行いながら、道路の調査が可能です。引き続き実用化に向け、実証実験を進めていきます。



地域交通活性化

実証実験中



山間部などへの輸送や災害時にドローンを活用



課題

- 離島や山間部などはトラック1台での輸送に限界がある
- 洪水や土砂災害が起きた場合、陸路での移動が困難になり、避難所や集落に物資を届けられなくなる

ソリューション

- ドローンポートカーを活用することで、車両とドローンの両方で輸送可能
- ドローンを活用することで、空路での状況確認や物資輸送が可能になる

解決フロー | 事業会社：佐川急便



佐川急便 担当者より

日用品や医薬品のドローン配送の実証実験は数多く行っており、実用化に向けて進めております。また、2023年度には当社として初めて災害時を想定したドローン活用の実証実験を実施しました。



実証実験中

観光客増加による交通機関の混雑を解消したい

課題

- 観光客とその手荷物（スーツケースなど）が増加し、交通機関が混雑している
- 観光シーズンにおいてコインロッカーや手荷物預かり所の数が足りていない

- 臨時手荷物預かり所を設置
- 宿泊施設などへの配送サービスも実施

事業会社：佐川急便、SGムービング

例：京都駅での臨時手荷物預かり所の設置（期間限定）

ソリューション



9時のオープンから荷物が増加し、午後には約70台（約530個分）のカーゴ台車が荷物でいっぱい

「手ぶら観光」ソリューションの一例



手荷物一時預かり

空港や駅などにカウンターを設置。手荷物をお預かりします



ホテル当日配送

お預かりした手荷物を、その日のうちにホテルへお届けします



空港受取サービス

本サービスに対応した空港で手荷物の受け取りが可能です



多言語対応

スタッフによる多言語対応のほか、デバイスによる通訳も可能

佐川急便 担当者より

観光地の交通機関、特にバスなどでは、スーツケースがスペースを取り、車内混雑や乗り降りができないこともあると伺っています。観光シーズンのみの手荷物預かり所の設置など、臨機応変な対応も可能ですので、ぜひご検討ください。



当社の環境活動



環境に配慮した輸配送

1990年代から導入を開始。直近8年でその数は2倍超に

環境対応車の導入

ガソリン車やディーゼル車に比べ、大気汚染物質（窒素酸化物・粒子状物質など）や地球温暖化に影響を及ぼす温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出が少なく、地球環境への負荷が小さい車両を導入しています。



EV車

年間2万8,000トンのCO2排出量削減のため、軽自動車すべてのEV化を目指します。



天然ガストラック

CO2やNOx（窒素酸化物）の排出量が少なく、PM（粒子状物質）をまったく排出しません。



ハイブリッドトラック

一般的なディーゼル車より燃費がよくCO2排出量も少ないトラックです。



「環境対応車」の導入で
地球環境への負荷が少ない輸送を実現！

環境にやさしい集配

全国で1,500台相当のトラック使用を抑制しCO2の排出抑制に貢献

サービスセンターの設置

トラックを使わない「環境にやさしい集配」に積極的に取り組んでいます。サービスセンターを拠点に、台車や自転車などを使った集配を行うことで、CO2の排出を抑制しています。



▲1つのサービスセンターで、トラック使用を3～5台抑制。
◀集配には電動アシスト自転車「TRIKE CARGO」も使用。



トラック以外の輸送方法導入で
CO2 排出量の抑制に貢献！

環境にやさしい物流センター

最大出力50kWの防災用蓄電を備える
最先端物流施設

SGリアルティ和光

佐川急便和光営業所が入居する「SGリアルティ和光」は、太陽光発電による電力の自家消費が可能です。また、最大出力50kWの防災用蓄電設備を備えています。



スギ
約17万本の
CO2吸収量[※]

2020年度までに導入した太陽光発電によるCO2の削減量は約2,500t-CO2です。これは、スギ約17万本のCO2吸収量に相当します。



物流センターでの発電および
電力の自家消費により 環境負荷を低減！

環境に配慮した施設

電気由来のCO₂排出量がゼロに

再生可能エネルギーの導入

2021年度から、16カ所の施設で電力の使用を「再生可能エネルギー」に切り替えました。これにより、再生可能エネルギー導入済みの施設では電気由来のCO₂排出量をゼロにすることができました。



再生可能エネルギー導入で電気使用量は約4,300万kWを削減、CO₂削減量は約21,000t-CO₂です。これはスギ約150万本のCO₂吸収量に相当します。



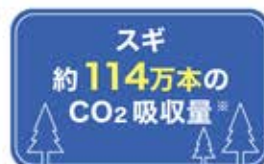
再生可能エネルギーの利用により、
電気によるCO₂排出量をゼロに！

省電力の照明

386カ所の営業所や大型物流施設に導入

LED照明の導入

営業所や大型物流施設386カ所にLED照明を導入し、環境負荷低減に取り組んでいます。2021年度までに導入したLED照明によるCO₂の削減量は約16,000t-CO₂、電気使用量にして約3,200万kWでした。



2021年度までに導入したLED照明によるCO₂削減量は約16,000t-CO₂です。これは、スギ約114万本のCO₂吸収量に相当します。



LED照明を導入することで、
消費電力を大幅に削減！

輸送モードの切り替え

列車や船の輸送で CO₂排出量をトラックの10分の1に

モーダルシフトの推進

トラックによる長距離貨物輸送を、大量輸送が可能でCO₂排出量が少ない列車および船などの輸送に切り替える「モーダルシフト」を積極的に推進しています。



2021年度、モーダルシフトによるCO₂削減量は127,388t-CO₂です。これは、スギ約910万本のCO₂吸収量に相当します。



CO₂排出を抑制する輸送で、
環境負荷を低減！

森林を守る

「高尾100年の森」プロジェクトを通じて 森の保全活動を10年以上継続

森林保全活動の推進

所有する「高尾100年の森」では、トラックなどの事業活動で排出するCO₂の吸収源となる森林保全に取り組んでいます。また、次代を担う子どもたちを対象にした自然体験学習も行っています。



東京都八王子市に所有する森林約50ヘクタール（東京ドーム約10個分）で、保全活動を行っています。



森林保全活動を通じて、
自然との共生を目指す！

当社の災害支援活動

当社は、大切な社会インフラである物流を支える事業者として、地域の皆さまの「安心」「安全」に貢献するべく、有事における災害支援活動に取り組んでいます。

1995年1月	2011年3月	2016年4月	2017年7月
阪神・淡路大震災 当時戦後最大の大惨事とされたこの時の経験が、当社の災害支援活動の礎となりました。  駅を臨時の集積場として活用	東日本大震災 支援要請元 日本政府の緊急災害対策本部  自衛隊の先導を受け、被災地に向かう当社の救援部隊	熊本地震 支援要請元 熊本県・熊本市  全国から集まった支援物資	九州北部豪雨 支援要請元 朝倉市役所（福岡県）  グループ各社が連携して支援物資輸送を実施しました

支援物資輸送事例紹介

1

東日本大震災

2011年3月～

東日本大震災では、ライフラインを担う物流網も壊滅的な被害を受けました。当社では即日災害対策本部を設置し、発生2日目にはトラック100台からなる救援部隊を派遣。輸送網の迅速な復旧に取り組み、2週間以内に全国の輸配送網を再開させました（一部地域を除く）。さらに、石巻市、東松島市、女川町からの支援要請を受け、274の避難所に対する支援物資輸送を展開。7月からは、石巻市の要請に基づき、自衛隊撤収後の支援物資管理業務も担いました。



スピード感を持った事業再開

3/11
金

京都本社および当時の本社東京本部に、災害対策本部を設置。

3/13
日

当時の関東支社から、トラック100台、200人の救援部隊を派遣。

3/17
木

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県で、「営業店止めサービス（当時）」を再開。

3/18
金

福島県で「営業店止めサービス」を再開。

3/22
火

青森県、秋田県、山形県で集配を再開。いわき店、相馬店で「営業店止めサービス」を再開。

3/24
木

被災地の一部エリアで集荷・配達を再開。全国の輸配送網を復旧させる（一部地域を除く）。

当社の支援活動についてまとめた動画を次の二次元コードからご覧いただけます。



2018年7月

西日本豪雨

支援要請元

三原市役所（広島県）



物資の入荷から保管、配送までサポートしました

2019年9～10月

房総半島台風（台風15号） 東日本台風（台風19号）

支援要請元

千葉県・宮城県丸森町



避難所に大量の支援物資を届けました（千葉県）

丸森町では避難所に食料などを配送（宮城県）



2021年7月

伊豆山土石流災害

支援要請元

熱海市役所（静岡県）

熱海市における支援活動の動画はこちらから



専門性を持つグループ各事業会社が合同で対応

支援物資輸送事例紹介

2

伊豆山土石流災害

2021年7月～

2021年7月3日（土）、記録的な豪雨により発生した伊豆山土石流災害のため、甚大な被害を受けた静岡県熱海市伊豆山地区。熱海市より災害支援物資輸送の依頼を受け、物資の保管・管理、避難所への物資輸送などを行いました。

熱海市の課題

- ① 市に寄せられる支援物資の保管場所を確保できず受け付けを停止
- ② 災害発生後の避難先から新たな避難所に数百名分の荷物を移動したい
- ③ 避難所への支援物資輸送を一括して任せたい



課題解決フロー

作業1 物資移動



作業2 被災者荷物の移動



熱海市災害支援物資輸送など 業務フロー図



まちを支える。ひとに寄りそう。

SAGAWA

タウンサポート

取組事例集

名刺

佐川急便株式会社

<https://www.sagawa-exp.co.jp/>



●この印刷物のFSC®ラベルは、世界の森林資源の責任ある利用を保証します。



●環境対応型インキの植物油インキで印刷しています。



●SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

初版 2023年12月